

創意工夫

高付加価値部品のトップブランドを目指して

新年のご挨拶



代表取締役
清水 克洋

年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。本年は十干十二支では「乙巳（きのとみ）」となります。乙（きの）のとは十干の2番目に位置し、植物が成長し広がっていく等の意味合いを持ちます。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。

巳（み）は、十二支の6番目、蛇を表します。蛇は豊穡や金運を司る神様として祀られてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療や再生のシンボルともなっています。

乙巳はこれまでの努力や準備が実を結び始める年だと考えられています。これまで結果に繋がる努力や準備を行ってきたかどうか、振り返ってみてください。成長のスピードは人それぞれですが、積み重ねてきた実績がなければ、結果は出ません。強い意志を持って、耐え続け、決めたことを思い切りよく断行する、「堅忍可決」の想いで取り組んでいきたいと思っています。



今後の方針

当社を取り巻く外部環境を分析すると、昨年から続く主力3部門の受注低迷、トランプ2.0の影響、そして日銀による利上げ等、先行きの不透明さが増すと同時に、当社にとつての逆風となる要素も多いと感じています。

主力3部門については、半導体分野の回復が予想より遅れたことが足かせとなり、当初計画していた予算に対して、低調な状態が続いています。

トランプ2.0は、関税の引き上げや減税、各種規制の緩和、不法移民の抑制等、様々な政策変更が予想されています。世界経済の不透明感が増すことでの受注減が懸念されます。また、国内においても日銀の利上げによる国内景気への悪影響も不安視しています。

一方で不二越様の構造改革による国内回帰や航空機部門の受注増といった話も聞いています。これらをチャンスと捉え、当社にとつての追い風とするために積極的なアプローチから受注へとつなげていきたいと考えています。

社内においては、IPTベトナムとの協業による競争力の強化に取り組んでいきます。自動化ラインも整備が進み、IPTベトナムと当社製造部の協業も従来のような定期的な受注や、大口受注という曖昧な住み分けではなく、緻密な原価計算等により、明確な役割分担を行っていくことで、より高効率な製造体制を構築していきます。

軸受部門については、不二越様の海外工場からの直接受注の実績も積み、昨年はアメリカ工場からの受注もいただくことができました。今後は一社一社との繋がりを

を更に太くし、受注拡大へと結び付けていきたいと考えています。

社員の皆さんへ

4月には成長支援制度も2年目となります。年末に行ったアンケートでは、約4分の1の方が成長支援制度によってモチベーションが向上したという回答結果になりました。この結果をたった4分の1ではなく、全従業員の内、25%のやる気につながったと捉え、本制度を継続・発展させていきたいと思っています。成長支援制度がきっかけとなり、皆さんの職業人生やキャリア形成に良い影響を与えられることを願っています。

最後に冒頭でも述べた通り、今年はこれまでの努力や準備が実を結ぶ年とされています。ただし、成果を上げたり目標を達成したりするためには、これまでの段階でしっかりと努力を積み重ね、十分な準備をしてきたことが重要です。

これまでの自分の取り組みを振り返ってみると、達成できている部分や、まだ不十分だと感じる部分があることでしょう。特に不十分だと感じる点については、今から取り組んでもすぐに結果が現れないこともあるかもしれません。

しかし、そこで諦めることなく、今年一年を通して強い意志を持ち、粘り強く努力を続けることを期待しています。



本年も
よろしくお願
致します。

新年の抱負

昨年を振り返って

昨年還暦を迎え、シルバー世代初年度を迎えました。一念発起し、遠方に住む友人に会いに行く、コロナ禍で控えていたマラソンを再開する等、ほぼ毎月県外へ出かけたアクティブな一年でした。



APS
柏倉さん

2025年の抱負

ここ数年、手が遅く作業スピードの向上が課題だと感じています。今年もスピードアップを目標にしています。与えられた仕事を確実にこなし、会社や部門に貢献していきたいと思っています。

プライベートでは昨年に引き続き、QOL向上がテーマです。自分自身の活動としては、同じ世代の人たちがスムーズにシルバー世代のライフスタイルへと移り変わるための手助けとなるような活動も始めてみたいと思っています。

昨年を振り返って

数字の見間違い等のミスがあり、気を付けていれば防げていたと反省点が多い1年でした。プライベートでは生活指導が入ったことを受けて、ウォーキングを始めました。自分のペースで取り組み、半年で7kgの減量に成功しました。



製造2課
碓井さん

2025年の抱負

新規の仕事を受けることが増えてきました。加工手順を考えこむことが多いので考える時間を短縮し、作業時間を増やしていきたいと思っています。また、1つの製品にかかる時間を短縮するために、加工方法を共有していきたいと思っています。

運動習慣を週4日から6日に増やし、継続することです。また、運動だけでなく食事のバランスも意識して、より健康的な生活を実現させたいと思っています。

昨年を振り返って

物価高騰の影響で大変な一年だったと感じています。身近なところでは、食品やガソリンの価格高騰は家計に大きな負担となり、仕事においても材料や購入品の値上がりにより、利益に大きな影響があったと思います。



生産管理課
藤谷さん

2025年の抱負

物価高は、まだ続いていくと考えています。担当している購入品発注において、ストック品の在庫数を減らすよう取り組んでいきたいです。その他にも納入価格の見直しを求め、コスト削減のためにできる事を探し、少しでも貢献していきたいと思っています。

年齢が上がるにつれて疲れやすくなってきています。体調を崩さないように、睡眠の質を高めていきたいです。

昨年を振り返って

これまで生産管理課の一員として、見積もり・工程設計を行っていましたが10月から営業課の管轄となりました。部署移動と体制変更により、業務負担が増え大変に感じることもありましたが、前任の方の仕事を見て気付く、新しい発見もありました。



営業課
金代さん

2025年の抱負

見積もりの工程設計作業をスピーディにこなしていきたいと思っています。外注業者に依頼する際、回答の速さに驚くことがあります。回答が早いと非常に助かるので、お客様にも同じように思っただけのようスピード感を持った仕事をしていきたいと思っています。

一方、スピード重視でミスが増えては意味がありません。材料寸法・工程入力・図面への重要な記載漏れなどが無いようにダブルチェックを怠らず、頑張りたいと思います。



G-1 GP 2024 を振り返って

マシン紹介

昨年は軽量化に特化したボディを製作しました。今年は新しく重量による加点などのルールが加わったことを受けて、石金精機らしいアルミボディに空と飛行機をあしらったデザインにしました。重量加点のためにフロントにもブレーキパッドを追加しました。その他にも前後のステーの変更やスポークの本数も増やしました。

苦勞した点を振り返って

今回は前田部長が統括リーダー、三浦課長がホイール製作、中川さんがアルミローラー製作・セッティング・組立、菅原さんがカラーリング加工・清水社長人形作成、中野さんがマシンデザイン・プログラムを担当しました。

(前田部長) まったく初めて触れるミニ四駆について、知識を付ける所から始まりました。今でも知らないこと、分からないことだらけで、知識不足を実感しました。

(三浦課長) 本大会で使用したホイールは前回よりも溝が深く、手持ちの工具では加工できず、時間がないスケジュールの上に工具の追加加工の手間も増え、焦りました。

(中川さん) 自分が担当するパーツで作り直しが必要になったことです。想定外の工数が増えるとスケジュールにも影響があるため、間に合わせるために苦勞しました。

(菅原さん) 短期間で仕上げなければいけない状況でペイントに使用する機械が壊れてしまいました。今回はデザインも加点になるため、バランスを取りつつ、急いで仕上げなければならず、大変でした。

(中野さん) 分かりづらい形状の部品は設計図だけではなく、見本用に現物を渡しておくべきでした。「作り直しのないように」が、次回に向けての反省点です。

次回へ向けて！

(前田部長) 次の大会は今回の経験で得た知識に加えて、1年間かけて奥が深いミニ四駆の知識を深めたいと思います。

(三浦課長) 大会を見てみると、ほとんどの社員がミニ四駆に携わっている会社もありました。次回は部活動のようにすることでチームの人数を増やしてみるのも面白いのではないかと思います。

(中川さん) 一回戦敗退はやはり悔しく感じます。今回の大会で学んだことを次回へと活かして、勝ち進みたいと思います。

(菅原さん) 前回より担当する作業が増えました。結果は残念でしたが、達成感を感じることが出来ました。次回はミニ四駆の知識を増やして挑みたいです。

(中野さん) 次回はオリジナル感のあるデザインにしたいです。一からデザインを作り、個性的なマシンを作りたいです。



本大会出場マシンと清水社長人形(紙粘土製)

チームメンバー募集中！





APS
北村BL

ワークスマネー 報酬に見合う仕事

私たちは労働の報酬として賃金を会社からもらっています。報酬をもらうということは、その分の価値を生み出さなければならぬと考えています。一般社員は指示されたことを確実に実行することができれば良いですが、役職者であれば、成果を出すことも求められていると考えています。

本物の技術職

近年はAIやロボットに仕事が奪われるということが起っています。ただし、取って代わられることのない、人間にしかできない仕事も存在します。特に技術職は、今後も人の手でなければ不可能な分野であると考えています。当社でも自動化ラインを稼働させていますが、使用する素材やロボット数など、様々な条件をクリアした製品のみが対象であり、それ以外の製品は従来通りの方法で製造しています。

ただし、技術職であってもAIやロボットの進歩によって、人力でなければ出来ないという分野が徐々に狭くなっていくと、日頃の仕事への向き合い方で、取って代わられる人とそうでない人の差が出てくると思っています。

現状維持は退化であると考え、毎日同じことが出来ているというだけでは、周囲の進歩に対して、変わらないうまま取り残されてしまいます。様々なことに興味を持ち、新しい方法を取り入れたり、自ら改善策を考える等、仕事の仕方を工夫することで、遅れを取らずに成長し続けたいと思っています。

次号のバトン

今回は製造3課松枝さん
にお願いしたいと思います。
期待の中堅どころのお話
をお伺いしたいです。



ベトナム文化紹介 ～お正月の過ごし方～



ベトナムのお正月文化について、ベトナムBK トウエンBLとドウックさんにお伺いしました。

旧正月を祝う「テト」

日本では1月1日に新年を祝いますが、ベトナムでは「テト」という旧正月を祝います。今年は1月29日がテトです。お正月休みと同じく休日もあり、今年のテト休暇は1月25日から2月2日と9日間続きます。日本のお正月より長期間ですが、ベトナムではゴールデンウィークやお盆がないので、長期休暇はテト休暇しかありません。

テトではバインチュンという料理を食べます。日本の料理では、ちまきが近く、もち米などを葉っぱで包んであります。ケーキのような形をしたものや、丸い形をしたもの、中身も様々な種類があります。



ベトナムBK
ドウックさん トウエンBL



左写真：四角い形のバインチュン
右写真：バインチュンの中身
形や中身、使用している葉っぱ等、
様々な種類があります。

下写真：テト休暇中のフラワーフェス
町中色とりどりの花で飾られます。



テト休暇の過ごし方

貴重な長期休暇であるテト休暇中は家族や親族で集まって過ごします。また普段はあまり交流がない親戚の所へ新年の挨拶にも行きます。そして日本と同じように子どもたちにはお年玉をあげます。初詣にも行きますが、ベトナムではお寺、寺院へ行きます。

テト休暇中は各地でお祭りも開催され、とても賑やかです。家や通りは色とりどりの花で飾られ、とても華やかな雰囲気です。子どもの頃はテトはとても楽しみな行事でした。

テト休暇中は航空機チケットやホテル等が高くなってしまいますが、いつもとは違うベトナムを楽しむことも出来ます。ぜひ観光にお出かけください。